



## 転換の令和5年度に

土佐希望の家医療福祉センター

センター長 吉川 清志



コロナ対応に追われた3年間が終わり、5月8日から新型コロナウイルス感染症が、2類相当の感染症からインフルエンザと同じ5類感染症となります。オミクロン株の感染力は強いので、私たちはワクチン接種や施設内でのマスク着用など基本的な感染対策を継続し、感染状況に注意しながら、今年度はこれまでの守りの姿勢から転換したいと思っています。

このような気持ちになれるのは、クラスター発生時に職員が丸となって頑張った結果、重症者が発生することなく、最小限の感染者数及び期間で終息できたこと、及び保護者の皆様の感染対策の結果、通所利用者さんの感染者が少なかったことなどによりです。

転換と言いついても特別なことではありません。

① 自分から先に元気に挨拶をしましょう。「おはようございます」「会釈」「こんにちは」「さようなら」「失礼します」「お疲れ様」(お疲れ様の連発は疲れた気持ちになります)。  
なりそうなので注意です。

② 楽しく過ごしましょう。利用者さんは、誕生会、散歩、外出、外食、買い物、希望の家祭、クリスマス会などに加えて新しい楽しみの発見を。面会は感染状況を見て緩めたいですが……。職員も家族との時間、趣味、会食、

旅行など、自分らしいやり方で楽しい時間を持ち、心身の健康を保ってください。

③ 学び合いましょう。利用者さんから、同僚や先輩そして後輩からも、他の職種の方からも。医師にも気軽に質問してください。分らなければ一緒に調べましょう。実践研究発表会の発表と質疑応答のレベルがアップしています。施設内外の研修会に参加し報告し実践して下さい。図書室とeラーニングの環境を整備しますので自己学習もできます。自己研鑽と他者貢献が人としての喜びです。

④ 学生実習に力を入れて、私たちの仲間を増やしましょう。人を教えることは一番の学びであり、昔の自分を思い出します。ボランティアさんの力を借りましょう。ボランティア活動を活性化したいものです。

⑥ 意見を言いましょう。そして常に「カイゼン」を考えましょう。そうできる職場の雰囲気大切です。

⑦ その他プラスαは皆さんが個別に考えてください。

これらをチーム希望の家医療福祉センターとして実行して、ハラスメントのない、働きやすい、働き甲斐のある職場をみんなで作ってゆきましょう。保護者の皆様、関係するすべての方々と共に。

## 令和5年度 事業計画の ポイント

利用者及び保護者の皆さまが安心して利用できる、質の高い医療・福祉サービスを安定的に提供するため、法人・施設の健全経営に努めるとともに、より良いケアの充実や防災対策の強化、人材の確保・定着などに取り組みます。

### 法人本部の取組

#### 1 健全経営に向けた取組み

##### (1) 幡多希望の家職員の給与改善

- 幡多希望の家は土佐希望の家と比べて給与水準が低いため、法人合併に伴い、幡多職員の基本給を令和5年度から令和7年度までの3箇年で段階的に土佐の水準まで引き上げます。(平均月額35,000円程度引き上げ)



##### (2) 施設整備のための土地確保

- 老朽化、狭隘化している土佐希望の家3病棟の敷地内改築及び老朽化、狭隘化しているうえ軟弱地盤である幡多希望の家の移転改築など、今後の施設整備に必要な土地の確保に取り組みます。

##### (3) 今後の利用ニーズの把握

- 行政等との連携強化を図りながら入所、在宅の利用ニーズを把握し、今後の各事業のあり方について検討します。



##### (4) 幹部職員の事業活動(法人運営)への参画

- 土佐と幡多の両施設の幹部職員が、法人の課題や方向性などを共通認識したうえで、健全経営に向けて積極的に取り組みます。



##### (5) 適正な事務処理の徹底など

- 法人の諸規程に沿った適正な事務処理の徹底など、組織としてのガバナンスの強化、内部統制の強化を図ります。

#### 2 不適切な行為等の発生の防止とより良いケアの実現

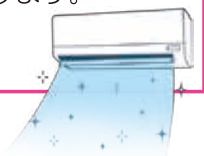


- 虐待防止委員会の開催や全職員による虐待防止チェックリストの実施、「いいケアしよう事例集」の活用等、日ごろのOJTを通じて、不適切行為等の発生防止とより良いケアの充実に取り組みます。
- 利用者の状況に応じたサービスの提供とリスクマネジメントによる事故防止に取り組みます。



#### 3 新型コロナウイルス感染症などの感染防止対策

- 感染対策委員会を中心に、利用されるすべての方を対象に感染防止対策の強化に取り組みます。
- 土佐希望の家1病棟と2病棟の老朽化している空調機器を空気清浄仕様に更新するなど大規模修繕工事を実施します。



#### 4 防災対策の充実

- BCP(業務継続計画)の見直しと災害時備蓄を推進するとともに、防災研修や防災訓練を充実します。



#### 5 人材の確保と定着

- 様々な機会を捉えて、多様な方法により求人を行うとともに、新人研修等の充実に取り組みます。



今回は、3月の法人理事会及び評議員会で承認されました、令和5年度の事業計画の主なポイントをご紹介します。土佐と幡多の両施設の役職員が一体となって計画の達成に向けて取り組んでまいります。



## 社会福祉法人 土佐希望の家の理念

- 社会福祉法人土佐希望の家は、利用者の生命、人間としての尊厳、及び権利を尊重し、良質な医療と豊かな暮らしを提供します。

## 社会福祉法人 土佐希望の家の令和5年度に向けて

### 1 ガバナンスの確立

- 法人合併2年目は、各部署の適切な運営を行うとともに、幡多希望の家は、職員の給与改善を実現するため、「入所者の維持確保」「短期入所の積極的な受け入れ」「通所部門の赤字解消（黒字化）」に取り組めます。

※ガバナンス…利用者・職員・地域社会等の立場を踏まえたうえで、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組み。  
(出典:WAMNET 社会福祉法人の経営ガイド)

### 2 医師確保

- 土佐と幡多の両施設の安定した運営には、それぞれ常勤医師の増員が必要と考えられるため、法人全体で医師確保に取り組むとともに、2024（令和6）年度に施行される医師の働き方改革への対応についても、令和5年度中に両施設での対応が実現するよう取り組みます。



### 3 幡多希望の家の移転改築

- 幡多希望の家は、平成9年の竣工以来23年経過しており、  
①施設の老朽化と狭隘化が課題となっていること。  
②軟弱地盤であり、南海トラフ地震への対策が急務であること。  
などから、できるだけ早期に移転改築が必要であると考えられます。  
このため、移転候補地の確保や資金計画の検討など改築の実現に向けて計画的に取り組めます。



### 4 職員のスキルアップ(研修計画の策定と実施)

- 土佐と幡多の両施設共通の職種別・階層別の研修体系を構築し、効果的・効率的な研修の実施に取り組めます。



### 5 両施設での共通業務の一元化

- 法人合併のスケールメリットを活かして、物品等の発注や入札手続き、各種請求業務、経理、給与業務などの共通業務を法人本部に一元化できるよう取り組みを進めます。





# 社会福祉法人 土佐希望の家 資金収支予算書

(自) 令和5年 4月 1日 (至) 令和6年 3月31日

社会福祉法人 土佐希望の家

(単位:千円)

勘定科目		土佐希望の家 (社会福祉事業 ・収益事業(本部含))	幡多希望の家 (社会福祉事業 (本部含))	法人全体	
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	11,586	3,790	15,376
		障害福祉サービス等事業収入	589,217	259,826	849,043
		医療事業収入	1,098,738	412,162	1,510,900
		その他の事業収入	0	300	300
		経常経費寄附金収入	2,311	50	2,361
		受取利息配当金収入	5,823	32	5,855
		その他の収入	4,759	612	5,371
		事業活動収入計	1,712,434	676,772	2,389,206
	支出	人件費支出	1,331,104	535,799	1,866,903
		事業費支出	250,208	78,563	328,771
事務費支出		123,204	51,733	174,937	
支払利息		366	0	366	
その他の支出		0	0	0	
事業活動支出計	1,704,882	666,095	2,370,977		
① 事業活動資金収支差額		7,552	10,677	18,229	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	185,800	0	185,800
		固定資産売却収入	0	0	0
		施設整備等収入計	185,800	0	185,800
	支出	設備資金借入金元金償還支出	14,500	0	14,500
		固定資産取得支出	302,400	8,570	310,970
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
		ファイナンスリース債務	0	886	886
施設整備等支出計	316,900	9,456	326,356		
② 施設整備等資金収支差額		△ 131,100	△ 9,456	△ 140,556	
その他の活動による収支	収入	投資有価証券売却収入	0	0	0
		積立資産取崩収入	243,534	3,000	246,534
		拠点区分間長期借入金収入	60,692	7,790	68,482
		事業区分間繰入金収入	1,394	0	1,394
		拠点区分間繰入金収入	0	0	0
		その他の活動による収入	0	0	0
		その他の活動収入計	305,620	10,790	316,410
	支出	投資有価証券取得支出	0	0	0
		積立資産支出	289,788	4,530	294,318
		拠点区分間長期貸付金支出	60,692	7,790	68,482
		事業区分間繰入金支出	1,394	0	1,394
		拠点区分間繰入金支出	0	0	0
		その他の活動による支出	0	0	0
その他の活動支出計	351,874	12,320	364,194		
③ その他の活動資金収支差額		△ 46,254	△ 1,530	△ 47,784	
当期資金収支差額合計		△ 169,802	△ 309	△ 170,111	

## 【資金収支予算書の説明】

- ① 事業活動による支出(事業費)は、電気料金等の水道光熱費や給食材料費、医療物品等の物価高騰を踏まえて一定の増額を見込んでいますが、収支は、土佐、幡多ともに黒字(法人全体で18,229千円)となる見込みです。
- ② 施設整備等による支出(固定資産取得支出)では、土佐の1病棟及び2病棟の大規模修繕工事等を予定しています。この工事費については、国・県の施設整備等補助金収入を見込んでいますが、補助率が3/4となっており、法人の自己負担額が生じるため、土佐の収支は、△131,100千円となる見込みです。
- ③ その他の活動による収支について、土佐の収入と支出の額が大きくなっているのは、将来の施設整備や人件費の増加等に備えた積立金の一部(定期預金等)が満期を迎えるため、更新することなどによるものです。

## 令和5年度看護課・生活支援課の 取り組みについて

看護生活支援部 看護副部長 鳴崎 文子  
生活支援副部長 濱田 美和



新緑の候、皆様におきましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

3年続いたコロナ禍も、3月にはマスクの適用が軽減され、5月にはインフルエンザと同様の感染症扱いとなり、少しずつですが元の生活に戻りつつあります。利用者さんにおかれましては、生活の制限などぜひぶん窮屈な思いをされたことと思います。また、ご家族との面会が制限され、寂しい思いもされたことと思います。

しかし、最初の2年間は利用者さんの感染を防ぎ、昨年度は3回のクラスターをも経験したなかで重症化することなく回復できたのは、利用者さんやご家族様、職員が一体となって感染対策に協力いただいた努力の現れだと思っております。本当にありがとうございました。

そして、コロナ禍以外では、入所系については利用者さんの高齢化や重症化に伴う身体的変調等も確認されているなか、職員が気づかない或いは防止できなかった転倒や打撲等が原因の可能性が考えられる急性硬膜下血腫や骨折等も確認されています。また、在宅系においても入所系と同様に利用者さんの重症化や身体的変調等も確認されています。

そのため、これらのことを踏まえ、令和5年度における看護課と生活支援課の取り組みとして、以下の目標に取り組んでいくこととしています。

### 【看護課】

- (1) 感染防止対策を徹底するとともに、感染症発生時にはエビデンスに基づいた適切なケアを提供し、利用者の健康被害を最小限に抑える。
- (2) 利用者の障害特性や加齢等による身体機能の変化について日々アセスメントを行い、看護過程を展開させることで、骨折等のアクシデントを防止する。
- (3) 在宅の重症心身障害児者に対し、利用者や保護者が安心してサービスを利用できるよう、適切な医療的ケアや接遇に努める。

### 【生活支援課】

- (1) 基本的な感染防止対策を徹底し、正しい理解のもとより良い支援を提供する。
- (2) 個々の利用者について理解を深め、特性に応じた個別支援を提供する。
- (3) 次世代に向け、柔軟な思考と対応ができる人材育成に努める。

重症心身障害児者ケアには、利用者さんの健康を守り生活を支えるという原点があります。そのため、利用者さんが元気に楽しく過ごすことができますよう、これからも看護課・生活支援課の職員一同、継続して取り組んでまいります。

そして、他部署と連携しながら、利用者さんの健康や喜びにつながるよう努めてまいります。



# 3病棟行事

三病棟の行事係では、コロナ禍で外に行けない時間も多くありましたが、利用者さんに少しでも楽しんで過ごしていただくために色々な行事を企画しています。



カラオケ大会や釣りゲーム週間やボッチャ大会、花火大会、クリスマス会、書初め、クッキングをしています。クッキングでは、利用者さんにもエプロンと三角巾をしてもらい、雰囲気を楽しみ、クレープやたこ焼き、アイスクリームフロートを作りました。また、月一回のお誕生日会があり、その月に誕生日がある



利用者さんを祝い、皆でケーキを食べています。そして還暦の利用者さんや成人を迎える利用者さんのお祝いもします。各イベントでは一位から三位になった利用さんにささやかではありますがプレゼントを用意しています。まだまだこれからも利用者さんに楽しんでいただけるような面白くて楽しいイベントを企画していきますのでよろしくお願ひします。

三病棟 行事係一同



# 1 病棟

毎朝、利用者さんを優しい笑顔で迎えに来て下さる山本先生。先生と散歩に行くことを心待ちにしている利用者さんがたくさんいます。皆さん、散歩が大好き！！外に出て季節を感じたり、他部署の職員や利用者さんに会うのを楽しみにされています。これからも、よろしくお願いします。

(1 病棟生活支援員 飯田暢子委員)



# 2 病棟

2月3日節分の日に我が2病棟でも豆まきを行いました。今年はいろいろな事情で職員不足ではありましたが、課長が赤鬼となり大奮闘してくれたおかげで、何とか利用所の皆さんと行うことができました。柔らかなゴムボールを豆に見立て、赤鬼めがけ一杯にボールを投げ、利用者さんは本当に楽しそうで、明るい笑顔を見ることができました。ここ数年はコロナ流行のため、いろいろな行事が縮小され、季節のお楽しみが少なくなっています。早く元の生活に戻れることを心から願い皆で豆をまきました。

(2 病棟：看護 森本仁三委員)





# 3病棟

1月2日に墨汁と和紙を使用し書初めしました。墨汁の独特の匂いや手や机に付いた墨汁を見て大笑いしながら書初めを楽しまれました。書初めには2023年の目標や叶えたい夢などをそれぞれ書かれていました。ほとんどの利用者さんがコロナの終息を願うと同時に制限のない生活に一日でも早く戻れるようお願いしながら書かれていました。皆さんの願が一日でも早く叶いますように...

(3病棟：生活支援員 北岡亜里沙委員)



# 通所

通所事業所では、2月の催し物として、「福笑い」の取り組みを行いました。皆さん、福笑いをご存じですか？本来は顔のパーツを目隠して貼っていくもので、出来上りをみんなで面白おかしく笑う遊びなんだそうです。通所事業所では、独自のルールで、じゃんけんで顔に貼っていくパーツを獲得することになりました。利用者さんたちが3つのチームに分かれて、じゃんけんの札を掲げます。勝ったチームは嬉しそうに、負けたチームは悔しい声が出て、とても盛り上がりました。目や鼻のパーツも個性的なものがあり、面白かったですね。完成した福笑い、満足いく出来になったかな？2023年も、笑顔の多い1年でありますように！

(通所：生活支援員 野口朱音委員)



## これからの夏バテ防止にピッタリな食材 トマト

### フルーツトマト発祥の地といわれる高知県

トマトにはナトリウムを排出する「カリウム」。胃の働きを活発にする「クエン酸」が含まれています。さらに、抗酸化作用のある「βカロテン」や「リコピン」も豊富です。「リコピン」は加熱すると2～3倍吸収されやすくなるため、効率的に栄養を摂りたいなら加熱調理して食べるのがおすすめです。

理想的なのは、トマトを肉と一緒に食べることです。トマトに含まれるクエン酸は、胃の働きを強める作用があるため、肉の消化吸収を助けてくれます。牛肉の脂肪にはリコピンの吸収を促す作用があるため、よりトマトの栄養効果を高めることができます。

土佐希望の家では、トマト肉じゃがをよく作ります。酸味があり、普通の肉じゃがよりさっぱりとしていて、私も大好きなメニューです。  
栄養科 主任 柏井沙織



## ご卒業・ご入学 おめでとうございます。

### 中学部ご卒業

1病棟 北 悠生様 3病棟 篠原雅也様

### 高等部ご卒業

1病棟 吉本裕香様 3病棟 東山奏太様



### 高等部ご入学

1病棟 北 悠生様 3病棟 篠原雅也様



## わたしの仕事



2病棟 看護師 森本 仁三

希望の家に就職することになったのですが、最初は不安でいっぱいでした。利用者の方とうまくコミュニケーションがとれるのかと。昔から私は表情が乏しく、看護師1年目で同期の医師からつけられたあだ名が『鉄仮面』だったほどでした。でも、何とか希望の家の職員の方や、心優しい利用者の方に支えられ、もうすぐ12年目を迎えることができます。

友人に誘われ、私の仕事は看護師です。最初に就職した病院から4か所目です。

今振り返ると、以前はほんのことが人力で、かなりの重労働でした。入浴介助や車いすへの移乗、毎日利用者の方を怪我させることの無いよう気を配り、心身ともにヘトヘトな毎日でした。それでも何とか続けることができたのも、利用者の方の笑顔に癒してもらったおかげです。仕事の後の一杯も格別ですが、やはり笑顔を見たら「あとひと踏ん張り頑張ろうか」そう思える力が湧いてきます。本当にありがとうございます。定年までまだまだですが、これからもよろしくお願います。

# 通所成人式



通所事業所では令和4年度の成人式を行いました。今回は3名の方が成人を迎えられるということで、ささやかな式典を開かせていただきました。

式典には故山崎勲さまとともに、重症心身障害児者の支援に尽力してこられた山崎祥子さまをはじめとして、吉川センター長、長生活介護事業所所長、若草特別支援学校本校からも成人された3名の方をたくさんの方がお祝いに駆けつけてくれました。

通所職員からは演目「えさしもちつきばやし」をさせていただきました。



た。「それ〜!」の掛け声とともに新成人の方たちもお餅を投げてください、笑顔がたくさんの時間となりました。その後、3名は成人の抱負を話してくれました。ご両親へのこれまでの感謝と、これからの希望の話をする3名は、どこか誇らしげで、とても立派な新成人の姿でした。改めまして、成人おめでとうございます。新成人の皆さんのこれからが、笑顔溢れる輝かしいものがありますように。

## 各病棟・通所 職員趣味自慢

### グルメ

私の趣味は友人や家族と美味しいお店にご飯を食べに行くことです。遠方でもドライブを楽しみながら行きます。コロナでなかなか友人に会えなかったのが、今年の夏はコロナが終息して、たのしい時間がたくさん作れたらいいなと思います。

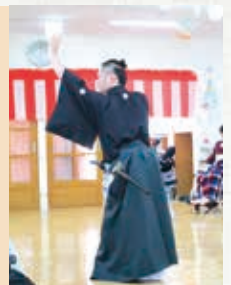
(2病棟：看護師 中田)



### 剣舞

剣舞とは居合道の動きをもとに舞踊を取り入れた日本伝統舞で、僕は水心流と言う流派で十五年間習っています。今は師範として小学生から高齢者まで教えることがあります。全国大会などの大きな大会もあり、三位止まりなのでいつかは優勝したいものです。

(3病棟：看護師 十万悠)



### よさこい

私は好奇心旺盛な性格で、多趣味です。一番はよさこいで普段から数チームを掛け持ちしてイベントなどで踊らせて頂いています。今年は4年ぶりに通常開催される予定なので応援よろしくお願いします。

(通所：看護師 田中誠)



### バンドマン

1病棟バンドマンは楽器演奏でいつも利用者さんを楽しく盛り上げています。

(1病棟：生活支援員 沖大輔・高橋勝利)



# 家族の窓

三病棟 篠原雅也様  
保護者 篠原智子様



篠原家の天使まあくくんが令和4年11月16日から3病棟に入所しました。3歳頃までは何も異常なかったのに段々色々遅れが見えてきて、5歳頃に東京の病院へ行った時「ムコ多糖症Ⅲ型A」と診断されました。6歳頃から睡眠障害、言語喪失、12歳頃から歩くのが困難になり殆ど車椅子になったけど、朝晩は手を引いて歩行練習もしてたから、今も支えたら歩ける感じですよ。保育園に通い始めた頃、お友達がまあくくんに近寄ると上の子が「なおのまあくくんに近寄るなあ！」と蹴りを入れたり「結婚しても一緒におる！」と言ったり。「もし相手の人が一緒は嫌って言うたらどうする？」て聞くと「うーん、じゃんけん？」と言ったりしてたのを思い出します。死ぬまでずっと一緒に居るつもりだったけど、まあくくんの発作が増えてきたのと私の持病や体力の衰えで入所を決めました。

入所の日、いつも通り明るく振舞おうと頑張ってたけど無理だった。最後泣いてしまった。上の子も泣いてた。いつもなら「一緒に帰れるー早く帰ろうー」ってニコニコして足を蹴ってたまあくくんが「僕は帰れない」と分かっていたみたいで、その時の表情を今でも鮮明に覚えてる。

今はコロナで対面でも触れないとか、窓越しで電話とかになってるけど、会える時は絶対会いに行くからね！2人までだからみんな行きたくて順番待ちしてる(笑)

支援してくださってる方々もほんとに良くしてくれてありがとうございます。毎日楽しく過ごさせてることに感謝しています。長先生が私に会わせてくれようとダッシュして病棟までまあくくんを迎えに行ってくれた事も(笑) これからもよろしくお願いします。

最後に、マスクをしているから分からないのか、私に似た人を私と思ってるみたいなので一言。

「かーちゃんは私だよー！」(笑)

## ご寄附 3月末まで

- 田村善稔様 前田久様
- 高芝植佑 保護者様 大黒直人 保護者様
- 野村和津斗 保護者様 西岡照夫様 宇野薫様
- 宇野久二夫様 長博雪様 山中真理様
- 千頭絢子様 高知友の会様 大前田商店様
- 高野プロパン様 北村忠司様
- 後免地区社会福祉協議会様
- 株式会社 テレビ高知様 高知競輪 保安労働組合様
- 株式会社 高知広告センター様 サンケイスポーツ様
- 高知県競輪競馬報道協会様
- 有限会社 福ちゃん出版社様 株式会社 四国東通様
- 日本トーター株式会社 高知競輪事業所様
- 高知競輪競馬従事員労働組合様
- 株式会社 日刊スポーツ様
- 株式会社 神戸新聞社 デイリースポーツ様
- 公益財団法人 JKA 競輪競技実施事業本部中四国様
- 南放セーラー広告株式会社様 高知競輪場内募金箱
- 日本基督教団 高知協会様

職員一同お礼申し上げます。

## 新年度通信編集委員 紹介

- 1 病棟 飯田支援員・大数看護師
- 2 病棟 岩本看護助手・下司看護師
- 3 病棟 北岡(亜) 支援員・高橋(由)
- 3 病棟 十万看護師
- 通 所 野口支援員
- 医務部(栄養科) 柏井
- 相談支援課 石川

## お悔み申し上げます

- 3 病棟西 濱崎源太様 3/4 ご逝去 享年 31 歳
- 2 病棟東 西井 岳様 4/8 ご逝去 享年 40 歳
- 2 病棟西 片山正子様 5/4 ご逝去 享年 64 歳

## 編集後記

令和5年度が始まりました。3月から入所者面会も対面面会・および感染対策を行い、触れ合うことが可能となり、少しずつですが、コロナ前の状況に近づいてきました。本年度は外出や外泊、ボランティアさんの受入が広がり、生活の幅が広がることで、より素敵な笑顔の利用者さんを皆様にお伝えできたらいなと思っております。今月号より西村贈写堂様に代わり株式会社 美統様に編集・校正・印刷をお願いすることとなりました。通信に対するご意見もお待ちしております。